

—— 社会保障部だより ——

降圧剤ディオバン（一般名・バルサルタン）使用についての 社会保障部員・地区委員の意識調査

先日来、「高血圧薬ディオバン論文不正」、厚労省の調査で「真相究明 どこまで」等新聞紙上を賑わせているバルサルタンですが、最近では患者さんからも、私が飲んでいる薬がそうですね！と尋ねられることが多くなった。

医事新報などもこの問題が取り上げられている。バルサルタン群を大幅に有利とする生データと解析用データの操作は「人為的な改ざん」と断定せざるを得ないとしている。また、この問題に対する製薬会社のコメントからは無責任な印象は拭えない。

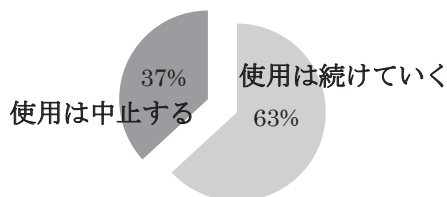
そこで、岡山県医師会社会保障部では、社会保障部部員、地区委員に対して、バルサルタンの今後の使用についてアンケートを行ったので報告する。アンケートは58人に対して行い40人の回答を得た。状況は流動的で、血圧値データも操作との報告も出てきており今後の会員の動向はまだまだ変わってくる可能性もある。

「高血圧薬（ディオバン）の使用について」

回答数40 / 回答依頼数58

使用は続けていく	24
使用は中止する	15
未回答（検討中）	1

高血圧薬ディオバンの使用について



その他のご意見

- 患者で自分の内服している薬が問題になっていると認識している人はほとんどいない。
- 研究内容は降圧効果ではなく脳卒中や心疾患の予防の視点であり臨床的には問題はない。
- 新規に処方することは控えている。患者の希望があれば他社へ変更予定。但し患者の申立があれば処方しない。
- これから問題が大きくなりマスコミが迫及することになれば中止する。
- ノバルティス社製品の信頼が落ちたとしてディオバン以外の使用も控えるのが良いかと思うがそこまで出来ずにいる。

- これら一連の論文の結果、脳卒中予防にはARBではディオバンが有意差をもって最も良いことになった。「こんないい薬はなぜ使わないか」という高圧的な態度をとるMRもいた。これら一連のデータでの後押しで当院でもディオバンの使用量が格段に増えました。誠に腹立たしい事です。今は使い続けるしかないが新規に出すことはもうありません。出来るだけ変更していきたいと思っています。ノバルティス社は社会的責任をもっときっちり取るべきです。
- 他の薬剤でも可と思われペナルティーという事で使用を控えるべきと思われます。